

避難地域復興・産業振興対策特別委員会

会議記録（第1号）

令和5年12月26日

福島県議会

1 日時

令和5年12月26日（火曜）

午後 2時19分 開会

午後 2時31分 閉会

2 場所

第二特別委員会室

3 会議に付した事件

- (1) 避難地域の復興・創生について
- (2) 産業の振興について
- (3) 上記(1)及び(2)に関連する事項

4 出席委員

委員長	長尾 トモ子	副委員長	橋本 徹
副委員長	佐々木 恵寿	委員	太田 光秋
委員	亀岡 義尚	委員	宮本 しづえ
委員	伊藤 達也	委員	佐藤 郁雄
委員	山口 信雄	委員	渡辺 康平
委員	安田 成一	委員	半沢 雄助
委員	誉田 憲孝		

5 議事の経過概要

（午後 2時19分 開会）

長尾トモ子委員長

出席委員が定足数に達しているので、ただいまから避難地域復興・産業振興対策特別委員会を開会する。

このたび、委員長に選任された長尾トモ子である。

開会に当たり、一言挨拶する。

東日本大震災と原発事故から12年以上が経過し、6町村において特定復興再生拠点区域が解除されるなど、復興は着実に前進しているものの、廃炉や除去土壌等の県外処分、風評被害等の問題を抱える本県の復興はいまだ道半ばである。

そのような中、本年は、福島イノベーション・コースト構想を更に発展させる司令塔の役割を果たす福島国際研究教育機構、F-R-E-Iの設立やALPS処理水の海洋放出の開始、帰還困難区域における特定帰還居住区域の設定などの取組が始まっている。

令和7年度に終了する第2期復興・創生期間後においても、切れ目なく、復興・創生に向けた取組を進め、帰還困難区域の再生や避難地域の生活環境の整備等を促進するとともに、F-R-E-Iの取組の効果を県内全体へ広域的に波及させ、本県経済を支える産業の振興はもとより、水素エネルギーをはじめ、新たな産業の集積・育成を図っていく必要がある。

このため、本委員会は、避難地域の復興・創生、産業の振興及びこれらに関する事項を調査する目的で設置された。委員各位には、特段の精励を願うとともに、私としても与えられた職責に全力を挙げて取り組む所存であるので、各位の協力を願う。

以上、委員会発足に当たっての挨拶とする。

それでは、本日の会議運営について諮る。

初めに、各委員及び担当書記並びに執行部職員の紹介を行い、次に、委員席の決定及び会議録署名委員の選任を行った後、付議事件及び設置期間の確認を行い、理事会の設置について諮り、最後に、次回委員会の開催及び継続調査について諮るとの順序で進めたいが、どうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、そのように取り運ぶ。

なお、本日の会議には、あらかじめ企画調整部長の出席を求めているので了承願う。

この際、各委員に述べる。

先ほど本会議で選任された副委員長については、第一順位を橋本徹副委員長、第

二順位を佐々木恵寿副委員長とするので了承願う。

ここで、委員の紹介を行う。

名簿に従い、橋本徹副委員長より順次自己紹介願う。

(各委員自己紹介)

長尾トモ子委員長

次に、本委員会の担当書記を紹介する。

政務調査課猪俣統人主任主査、同じく鈴木寿実主査である。

続いて、執行部より職員を紹介願う。

(執行部職員紹介)

長尾トモ子委員長

次に、委員席の決定について諮る。

委員席をただいま着席しているとおり決定したいが、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

次に、会議録署名委員の選任について諮る。

会議録署名委員は、委員長指名で異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、太田光秋委員、亀岡義尚委員を指名する。

本日の議事に入る。

初めに、本委員会の付議事件及び設置期間について確認する。

まず、付議事件は、「1 避難地域の復興・創生について」、「2 産業の振興について」、「3 1及び2に関連する事項」である。

次に、設置期間であるが、本委員会の付議事件は県政上の重要課題で広範にわたる問題であるため、今後とも積極的かつ慎重に調査を行う必要があり、調査には相当の期間を要するものと思われる。したがって、令和7年9月定例会まで継続して行いたい。

以上のことについて、意見、質問はあるか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

それでは、そのようにする。

次に、本委員会に理事会を設置することについて諮る。

本委員会の調査内容は広範にわたることから、委員会運営の基本方針等について協議を行うため理事会を設けたいが、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、理事会を設置する。

理事会の構成については、正副委員長と理事2名の計5名とすることで、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

理事の人選については、委員長指名で異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、伊藤達也委員、安田成一委員を指名する。

次に、次回委員会の開催について諮る。

次回委員会は、今後の調査計画及び本委員会で厳選して注力すべき調査内容の選定について協議を行いたい、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

なお、開催日時については、正副委員長に一任願う。

次に、継続調査について諮る。

本委員会の調査は、先ほど確認したとおり、今後とも相当の期間を要するため、会議規則第75条の規定に基づき継続調査申出書を提出したいが、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、そのようにする。

なお、この場合、委員長の間接報告を求められるが、その案文については正副委

員長に一任願いたいが、どうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、そのように取り運ぶ。

以上で、本日の避難地域復興・産業振興対策特別委員会を閉会する。

（午後 2時31分 閉会）